

## 前回の医療部会での主な議論・意見

注1：前回の医療部会の議事録をもとに、事務局でまとめたものである。

注2：荒井委員からは意見書が提出されており、以下は、それ以外の議論・意見をまとめたものである。

### <総論>

- 高齢化と少子化が急速に進展する中で、現在の医療提供体制のままでは、本当に日本は大丈夫なのか、ということ議論すべき。議論にあたっては、現状を正しく把握することが必要である。（相澤委員）
- 都道府県と国の役割分担・責任分担を明確にする必要がある。（樋口委員）

### 1. 病床の機能分化・連携の推進

- 地域医療ビジョン策定にあたっては、「一般病床の機能分化の推進についての整理」（平成24年6月15日・急性期医療に関する作業グループ）で示されている通り、まずは、都道府県が報告制度を通じて医療機関の現状を把握し、国において、都道府県に報告された医療機能に関する情報を分析すべき。国は、この分析を踏まえ、地域医療ビジョンのガイドラインを作成し、その後、各都道府県によるビジョンの作成に移るというタイムスケジュールとするべきである。（西澤委員・中川委員）
- 医療機関が報告する医療機能については、引き続き、検討会で慎重に議論を行っていくべきである。（中川委員）
- 患者が急性期・亜急性期・回復期のどの機能に行けば良いのか正しく理解できるような、分かりやすい国民への情報提供のあり方を議論すべきである。（山口委員）

### 2. 在宅医療の推進

- 病院の機能だけでなく、在宅医療も絡めて調査を行ったうえで、医療提供体制を考えるべきである。（藤本委員）
- 在宅医療を推進するにあたっては、地域の医療財源としての診療所が、実態としてどれくらいの診療機能を持っているのかを調べるべきではないか。（山崎委員）
- 地域では高齢の開業医が多い中で、実際にどのくらいの医師が在宅医療を担うことができるのか、実態を把握する必要がある。在宅医療について、国が考えているニーズと、実際に提供できる体制がどの程度あるのかを、まずは正しく把握することが必要である。（今村委員）
- 在宅医療は、地域包括ケアシステムの一部であるから、医療計画だけではなく、市町村のつくる介護保険事業計画等とのリンケージを進めていかないとうまく機能しない。（田中部会長代理）
- 在宅医療の推進が一定のテンポ、速度を持って進展しなければ、やがて多くの高齢者の居場所がなくなることに直結するという危機感を共有することが必要。（高智委員）

### 3. 特定機能病院の承認の更新制の導入

- 特定機能病院の承認の更新制の導入は妥当である。現在検討されている特定機能病院の承認要件の見直しについては、特定機能病院の制度化から約 20 年が経過する点を考慮し、その間における高度の医療レベルの変化や、臨床研究、研修等の達成度等との関係も踏まえて検討するべきである。（加藤委員）

### 4. 医師確保対策（地域医療支援センター（仮称）の設置）

#### 5. 看護職員確保対策

- ナースセンターによる職場復帰システムが実効的に構築されるよう、今後、看護師籍や業務従事者届出制度等との連動や、ナースセンターの機能強化等について、十分に検討する必要がある。（齋藤委員（菊池参考人））

#### 6. 医療機関における勤務環境の改善

- 自主的な勤務環境マネジメントシステムの創設に賛成。看護職員確保対策の観点からは、夜勤交代制の勤務環境の改善や、妊娠中・育児中でも働き続けられる勤務環境の整備が有効。このため、医療機関が自主的に勤務環境の改善に取り組むマネジメントシステムを創設し、行政がそうした取り組みを支援する仕組みは重要。（齋藤委員（菊池参考人））

### 7. チーム医療の推進

#### 8. 医療事故に係る調査の仕組み等の整備

- 基本的なあり方について、病院団体は、これに賛成したものではない。医療事故については、再発防止に力点を置くべきであり、第三者機関を設けることはいいが、行政による懲罰や行政処分の対象となる、さらには刑法が適用できるという現在の仕組みを改正する方向での検討をお願いしたい。（日野委員）

### 9. 臨床研究の推進

### 10. 外国医師等の臨床修練制度の見直し

### 11. 歯科技工士国家試験の見直し

#### 12. 持分なし医療法人への移行の促進

- 医療法人については、非営利性だけではなく、医療が有する公益性や、社会・地域貢献等の観点から、21 世紀にふさわしい医療法人のあり方を議論しないと、人々の信用を得るのは難しいのではないかと。（田中部会長代理）
- 今回、制度改正を行うにあたっては、同時に税務の面での検討を行い、税務当局との調整を適切に進めるべきである。（山崎委員）

（以上）